

質 問 回 答 書 ③

令和元年 5 月 1 4 日

1. 入札締切日 令和元年 5 月 1 6 日
 2. 工事番号 長防工第 1 号
 3. 工事名 防災行政無線・FMラジオ方式移行工事
 4. 工事場所 長岡市 中之島ほか 地内

5. 質 問 事 項 (具体的に記入してください)

質問No.	図面No.	質 疑 事 項	回 答
1		<p>特記仕様書 p. 6～7 屋外拡声装置及び収容箱の仕様(受信部及び定時放送部を除く)は、いわゆる同報系防災行政無線設備の屋外拡声子局と同等の仕様であると見受けられます。</p> <p>また、標準の電源増幅部 120W の他に、増設用の電源増幅部を付加する必要がある子局も見受けられます。</p> <p>これらは、国内で納入実績を有する、同報系防災行政無線用のものという理解でよろしいでしょうか(受信部及び定時放送部を除く)。</p>	お見込みのとおりです。
2		<p>特記仕様書 p. 7 屋外拡声装置収容箱について。長岡市内は豪雪地帯であることから、もし収容箱に「FRP製カバー」を取り付けなければ容易に結露するのではないかと考えます。また、FRP製カバーは黄砂・風雨・接触事故等による汚損の低減を図り、長期的な維持管理経費の削減に貢献できるものと考えます。</p> <p>FRP製カバーは必須という理解でよろしいでしょうか。</p>	FRP製カバーは必須ではありませんが、特記仕様書の環境条件等仕様を満たすように製作してください。
3		<p>特記仕様書 p. 7 八木型空中線については、3素子八木型空中線(利得 8. 15 d B i) を使用してよろしいでしょうか。</p>	特記仕様書の利得を満たすことができればよろしいです。

		<p>また、防災用であることから、耐風速 60 m/s に対応した空中線が必須という理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>特記仕様書に記載のとおりです。</p>
4		<p>越路・中之島・寺泊における既設設備の撤去作業に先立ち、信越総合通信局との協議及び諸手続きが必要と存じます。</p> <p>既設設備に関する技術情報の収集等も含め、これらの業務は受注者が行うという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
5		<p>設計書には「機器間接費」という項目があります。一方、公表されている「最低制限価格の取扱いについて（平成 31 年 2 月 14 日からの暫定措置の継続）」における算定式には、機器間接費という項目はありません。</p> <p>この機器間接費は、どのように扱うものでしょうか。具体的には、現場管理費の一部として扱うという考え方でよろしいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>

(工事担当課： 住宅施設課)